腹腔鏡下子宮筋腫核出術における上部靭帯のみの血管クリップ一時止血法に関する検討
に関する研究のお知らせ

帝京大学　ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2026 年度　11 月　19 日　～　　2028 年　3 月　31 日

〔研究課題〕
腹腔鏡下子宮筋腫核出術における上部靭帯のみの血管クリップ一時止血法に関する検討

〔研究目的〕

子宮筋腫を摘出する手術（腹腔鏡下子宮筋腫核出術）では、出血量が多くなることがあります。本研究では、子宮の上のほうで子宮に血液を送っている靭帯（卵巣固有靭帯・円靭帯）を、手術の間だけ一時的にクリップで挟み、子宮への血流を一部減らすことで、術後の貧血や出血を抑えられるかどうかを調べます。

〔研究意義〕

これまでの研究では、子宮への主要な血管（子宮動脈）を一時的に遮断する方法で出血量が減ることが知られています。しかしこの方法は、骨盤の奥にある膜を切り開いて尿管などの大切な構造を避けながら血管を露出させる必要があり、手術時間が延びたり、別の合併症が増えたりする可能性があります。今回の方法は、骨盤の奥を触らずに、表面から見える靭帯を一時的にクリップで挟むだけの簡便な手技です。これがどの程度の出血抑制につながるかを確かめることで、より安全で簡便な出血対策を提案できる可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2023 年 4 月 1 日から 2026 年 7 月 31 日までに、当院で症候性の子宮筋腫に対して腹腔鏡下子宮筋腫核出術を受けた患者さんのうち、所定の除外基準に該当しない方を対象とします。診療録（カルテ）に既に記録されている情報（年齢、身長・体重、検査結果、手術記録、合併症等）を後から取り出して、クリップを使用した群と使用しなかった群とで、術後のヘモグロビン低下量や出血量を比較します。新たな検査や治療は一切行いません。

〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター　産婦人科

〒299-0111　千葉県市原市姉崎 3426-3　TEL:0436-62-1211

〔個人情報の取り扱い〕

カルテから取り出した情報は、お名前・患者 ID・生年月日などの直接個人を特定できる情報を取り除き、研究用の番号（研究用 ID）に置き換えてから解析します。研究データは、パスワードで保護した院内の端末で、施錠された部屋で管理します。研究結果を発表するときも、個人が特定されないようにします。研究への参加を希望されない場合は、いつでも申し出ていただくことができ、その旨の連絡をいただいた時点で、その方のデータは解析から外します（オプトアウト方式）。連絡先は本文末尾に記載のとおりです。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてよ

り詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名　五十嵐敏雄　　職名　教授
研究分担者:氏名　岸本叡人　　職名　助手
所属:帝京大学　ちば総合医療センター産婦人科
住所:〒299-0111　千葉県市原市姉崎 3426-3　　TEL:　0436-62-1211　（代表）